

米国アカデミー賞公認アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2023

映画祭オープニングセレモニーで
「MILBON BEAUTY AWARD」決定！
上映作品の中からもっとも「美しさ」を体現するショートフィルムとして
『さようならまでの時間／LIVE TILL I DIE』に授与

“さようならまで自分らしくいたい”という気持ちと、
そこに寄り添う伴走者の美しい絆—

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）」は昨年度より、美容室向けヘア化粧品メーカーの株式会社ミルボンとともに、上映作品の中からもっとも「美しさ」を体現するショートフィルムを表彰する「MILBON BEAUTY AWARD」を設立しています。

6月6日、SSFF & ASIA 2023オープニングセレモニーで第2回となる本年度の賞の発表が行われ、スウェーデンのグスタフ・エージェルストランド、オーサ・エクマン、オスカー・ヘティン・ヘッテバーグ、アンデルス・テイゲンの4名による共同制作作品『さようならまでの時間／LIVE TILL I DIE』が受賞。トロフィーと賞金50万円が授与されました。



受賞発表に登壇した株式会社ミルボンの代表取締役社長 佐藤龍二さんは、受賞作品について、

「さようならのその時まで自分らしく・美しくいたいと思う気持ち、そこに寄り添う伴走者、どちらもかけがえのない存在です。この作品では、両者の深い絆が一人の女性の最後の時間を美しく彩る様を、優しい眼差しで描いています。一人ひとりの人生に“さようならまで”寄り添うというのは、介護福祉士だけでなくミルボンのパートナーである美容師・美容室も同じ。美容室とともに人々の美しい生き方を応援する企業として、この作品をMILBON BEAUTY AWARDとして選ばせていただきました。」

と語り、受賞作に映し出された人々の人生に寄り添う存在としての介護士を美容師に重ね合わせて称賛しました。

また、『さようならまでの時間／LIVE TILL I DIE』の4人の共同監督を代表して来日したオーサ・エクマン監督が登壇し、喜びのコメントを次のように語っていただきました。

「受賞をとっても光栄に思っています。ミルボンさんの「美」を体現するメッセージを表すものとしてこの映画が選ばれたことは本当に嬉しいです。なぜならば、この作品は、登場人物の外見の美しさだけではなく、内面の美しさや幸福を描いたものだからです。選んでいただきありがとうございました。」

本作は、ミルボンの公式webマガジン「Find Your Beauty MAGAZINE」で展開中のショートフィルム配信プロジェクト「MILBON BEAUTY MOVIES」にて公開中です(配信期間：4か月間)。

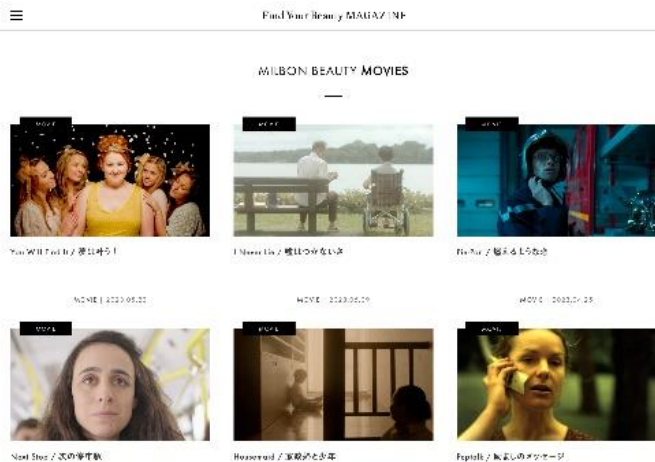
URL : https://www.milbon.co.jp/fyb-magazine/mbm_livetillidie/



監督:グスタフ・エーゲルストランド、オーサ・エクマン、オスカー・ヘディン・ヘッテバーク、アンデルス・テイゲン
23:46 /スウェーデン / ドキュメンタリー / 2022年

ストックホルム郊外の国営の老人ホーム。祖母の死を嘆き続ける心優しい介護福祉士モニカと、家族のいない99歳の入居者エラの間、深い絆が生まれる。高齢者介護の難しさと可能性を描いた、人生を肯定する感動作。

「美しさを拓く」ショートフィルムを毎月2本（第2、第4火曜日）配信 「MILBON BEAUTY MOVIES」



ミルボンの公式webマガジン「Find Your Beauty MAGAZINE」内、「MILBON BEAUTY MOVIES」では、多彩な切り口で「美しさを拓く」世界のショートフィルムを毎月2作品（第2、第4火曜日）に無料配信中（各作品の配信期間は4ヶ月）。今回発表のMILBON BEAUTY AWARD受賞作品『さようならまでの時間／LIVE TILL I DIE』もこちらのサイトで配信中です。ぜひご覧ください。

<https://www.milbon.co.jp/fyb-magazine/#moviesTop>

ミルボンについて

株式会社ミルボンは、美容室専用のヘアケア製品やヘアカラー剤などを製造・販売する化粧品メーカーです。美容のプロフェッショナル人材の育成や課題解決支援を通じて、美容室の成功を支援するとともに、確かな技術に裏付けられた製品によって、美容室を訪れるお客様一人ひとりの美しい生き方を応援しています。

会社概要

※2022年12月31日現在

会社名：株式会社ミルボン <https://www.milbon.com>

本社：東京都中央区京橋2丁目2番1号 京橋エドグラン

代表者名：代表取締役社長 佐藤 龍二

設立：1960（昭和35）年7月

資本金：20億円

売上高：452億円※

従業員数：842名（連結1,097名）※

事業内容：美容室専売のヘアケア商品やヘアカラー剤などの製造・販売

株式：東証プライム市場（証券コード4919）

SHORTSHORTS



FILM FESTIVAL & ASIA

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。

また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に

「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

また、2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、2019年の映画祭からは、オフィシャルコンペティション（インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>



<映画祭ポスタービジュアル>

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2023 概要】

■開催期間：6月6日（火）～6月26日（月）

オンライン会場は4月27日（木）～7月10日（月）

■上映会場：TORQUE SPICE & HERB, TABLE & COURT（渋谷）、
二子玉川ライズ スタジオ & ホール、ユーロライブ、表参道ヒルズ スペースオー、
赤坂インターシティコンファレンス、オンライン会場にて予定

※開催期間は各会場によって異なります

■料金：会场上映：無料（予約開始は4月27日～）一部有料イベントあり

■一般からのお問い合わせ先：info@shortshorts.org

■公式サイト：<https://www.shortshorts.org/2023>

■主催：ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、時期または内容を変更する場合があります。

本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中 E-mail：press@shortshorts.org【

【本資料に関する画像については、下記よりダウンロードいただけます】

https://drive.google.com/drive/folders/1LHBnEW6MKz-KL_AiMqONsCpZTmufeM58?usp=sharing